

学校運営協議会議事録

校名	府立山田高等学校
(准)校長名	前田 貴司

開催日時	令和6年7月2日(火) 15:30～
開催場所	大阪府立山田高等学校1階 校長室
出席者(委員)	友谷会長、山口委員、速水委員、川上委員、西川委員、川畑委員
出席者(学校)	前田校長、坂口教頭、今西事務長、金子首席、永野首席、松田指導教諭
傍聴者	なし
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・校長自己紹介スライド ・1学期面談及び授業見学からのフィードバック ・令和6年度 大阪府立山田高等学校 学校運営協議会委員名簿 ・大阪府立山田高等学校 学校運営協議会 実施要項 ・教員の授業その他の教育活動に関するご意見について ・保護者意見の流れ(図解) ・大阪府立山田高等学校運営協議会 傍聴に関する要領 ・府立学校における働き方改革の取組へのご理解とご協力をお願い ・部活動にかかる登下校時間について ・令和5年度 学校経営計画及び学校評価 ・令和6年度 学校経営計画及び学校評価 ・今春の進路状況
備考	

議題等(次第順)	
<p>1.校長挨拶 2.事務局紹介 3.委嘱状授与 4.会長選出 5.会長挨拶 6.学校運営協議会について 実施要項、保護者からの意見書について 7.協議 (1)令和5年度学校評価について (2)令和6年度学校経営計画について (3)働き方改革の取組について (4)部活動に係る登下校時間について (5)進路関係報告 (6)その他 8.質疑応答・意見交換</p>	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<p>4.会長選出 友谷委員が会長に選出された 山口委員が副会長に選出された</p> <p>6.学校運営協議会について 会議日時現在において、保護者からの意見書の提出はなかった</p> <p>7.協議 (1)令和5年度学校評価について 3 本年度の取組及び自己評価 おおむね達成できたといえる 超過勤務月間80時間以上の教職員延べ人数が増加したことについては今後改善が必要</p> <p>(2)令和6年度学校経営計画について →育てたい生徒像(3つのC)に基づいた授業づくりをめざす「山田スタンダード」を作成したい ・BT(ベーシックタイム)の意義の再確認を行う ・総合的な探究の時間について、さらなるブラッシュアップを行う ⇒外部人材の積極的な活用 ・国際交流について、来年度以降の短期留学の再開を計画する</p> <p>【質疑】 ・授業力の向上について、山田スタンダードとはどのようなものを想定しているのか →山田高校として、1コマの授業の流れの基本を作成し、教員の共通認識にしていく ・超過勤務について、管理職としてできることはやっているがなかなか減らない現状がある。何か具体的な方策はあるのか →超過勤務増の原因の1つとして部活動があることは認識している</p> <p>(3)働き方改革の取組について ・働き方改革について、保護者へ周知文を配布した</p> <p>(4)部活動に係る登下校時間について ・部活動の基本方針を遵守する ・生徒に完全下校時間を遵守する指導を行っている ・メロディチャイム等も活用し、生徒に時間厳守の意識づけを行う ・時間の制約があるなかで、活動内容を工夫する等の指導を行う</p> <p>(5)進路関係報告 ・今春卒業生の主な進学先を報告 ・関関同立のべ合格者が200名を超え、昨年度より大幅に合格者数を伸ばした ・共通テスト受験者数は少数を減らした ・今年度も外部模試を活用し、自身の実力を把握させる指導を行う ・例年どおり保護者対象の進路説明会等も充実させている。PTAが大学見学研修会を企画している ・関関同立合格者数に関して、実人数という基準は意識したい</p> <p>【質疑】 ・教育課程の策定はどのような手順で行うのか。 →教育課程PTを母体とし、本校生にとってより良い教育課程とはなにかを考えたい学校全体で議論していく</p> <p>・同窓会と連携したキャリア教育について、同窓会に協力をおねがいしたい →同窓会としても、ぜひ協力したいと考えている。どのような講演が期待されているのか。具体的な部分について今後協議をお願いしたい。</p> <p>・学校として委員の先生方に協力いただきたいことはあるか →大学でも部活動を続けることに抵抗を感じている生徒がいる。実際に大学で部活動を行っている学生と交流できる機会があればありがたい。その交流を通して、スポーツだけでなく学業面でのつながりに広がっていくのではないかと</p> <p>(6)その他 ・交通安全について、自転車ヘルメットの着用について</p> <p>9.諸連絡 ・次回の運営協議会は11月頃を予定</p>	
次回の会議日程	
日時	
会場	